

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	国際機関との連携事業			事業番号	008-065
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進		
		有・無	指標名	延べ宿泊者数		目標値	1,400,000人(2025年度)
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
		寄与するKPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		有・無	指標名	—		目標値	—
2	関連計画	特になし					
3	事業開始年度	平成 23 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	特になし					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、博物館入館者、無形文化遺産に関心のある方				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	アジア太平洋無形文化遺産研究センターとの連携事業を通じ、多文化共生へのまちづくりに資するとともに、歴史的につながるの深いアジアをはじめとする国々との文化交流を促進し、地域の活性化に繋げていく。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	アジア太平洋無形文化遺産研究センターや国立民族学博物館などの研究機関と連携し、無形文化遺産理解セミナー、企画展示、ワークショップ、シンポジウムなどを実施する。また、ユネスコ、日本の無形文化遺産に関する取組みや本市の事業を紹介するパネル、リーフレットの作成を行う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託事務の受注者				
10	公民連携・協働事業					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 無形文化遺産理解セミナーの参加者数	人	目標値	300	90	90		300
		実績値	283	73			
		達成率	94%	81%			
当該指標を選定した理由	募集予定人数を目標値とした。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の対策で募集人員を大幅に削減。						
目標値の設定根拠・算出方法	参加者実数						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
12 シンポジウムの参加者数 (令和元年度は東京シンポジウムの数値)	人	目標値	250	0	150		
		実績値	356	0			
		達成率	142%				
当該指標を選定した理由	令和3年度は形を変えて小規模に堺市内の無形文化財をテーマにシンポジウムを開催する計画。会場定員300人のところ、新型コロナウイルス感染症の対策のため定員の半数150人が入場者数の限度であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	参加者実数:東京シンポジウムは令和元年度をもって終了。令和3年度は堺市での小規模シンポジウム開催予定。						

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	国際機関との連携事業	事業番号	008-065
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	3,789	3,416	3,697	1,397	2,712
13 財 源 内 訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	3,789	3,416	3,697	1,397	2,712
14 人件費 (b)	4,980	4,940	5,030	5,030	5,030
15 年間経費(c)=(a)+(b)	8,769	8,356	8,727	6,427	7,742

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち 一般財源	項目	年度		事業費		うち 一般財源
	R2	決算	R3	予算			R2	決算	R3	予算	
16 事 業 費 内 訳	謝礼金	R2	決算	147	147	通信運搬費	R2	決算	58	58	
		R3	予算	790	790		R3	予算	106	106	
	費用弁償	R2	決算	8	8	筆耕翻訳料等	R2	決算	51	51	
		R3	予算	140	140		R3	予算	128	128	
	普通旅費	R2	決算	24	24	イベント企画運営業務	R2	決算	593	593	
		R3	予算	79	79		R3	予算	0	0	
消耗品費	R2	決算	266	266	有料道路通行料	R2	決算	0	0		
	R3	予算	300	300		R3	予算	9	9		
印刷製本費等	R2	決算	173	173	その他使用料及び賃借料	R2	決算	77	77		
	R3	予算	441	441		R3	予算	719	719		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		① 無形文化遺産理解セミナーの参加者数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,382	1,380
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	4,883	15,333
備考 (算出についての説明等)		経費 (人件費：正職0.1、非常勤0.1)	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>コロナ禍の影響により、シンポジウムは中止、セミナーも参加者数を大幅に縮小して開催したため、費用対効果は減少した。しかし、このような状況下でも、多くの申し込みがあり、今後も継続していきたい。</p>
----	---

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>無形文化遺産を取り上げることによって、博物館の展示とは違った角度から堺の文化と歴史を紹介する一面もあり、百舌鳥・古市古墳群と並んで、博物館の来館者増に繋がるものと考えている。また、今後は、堺の伝統産業等を視野に入れ無形遺産への興味付けを図っていきたい。</p>
----	---